

“あびの宴”公演会 & 子どもまつり

「ゆかいな おかしな シアターうん・どうかい」アフタフ・バーバン 5月11日(土)

他のイベントと重なり、参加者の数が危ぶまれる中、開かれた今回の子ども祭り。小学生、保育園児、赤ちゃん連れお母さんやお父さん、ちょんこめ会のメンバー、そして私たちを含めた若干の老若男女、という少数ながら多彩(?)な顔ぶれとなりました。こんなとりとめのない面々でしたが、遊びの達人アフタフ・バーバンは、趣向を凝らした自己紹介と若干のパフォーマンスですぐさま気持ちを一つにしてみました。

保育園チーム、小学生チーム、保護者チーム、大人チームの4組に別れ、うん・どうかいが始まります。

一番人気だったのは“本物は誰だ”。各組から2名ずつ出て、コップから本当にお水を飲んでいる人は誰か、口の中に酸っぱい梅干しがあるのは誰かを当てるといったもの。幼児といえども侮るなかれ、ちゃんと演技して、本物は誰かがさっぱりわからない。見事にだまされました。

各組の団結とアイデアが発揮された人気種目が“人間写真”。与えられたテーマを切り取ったワンシーンを2枚の写真として表現します。お題は、八丈島・海・遠足・動物園、さて結果はいかに？工夫を凝らし、役割を果たし、印象深い写真ができましたよ。わが小学生チームでは、三根小の1女子(多分3年生)が、瘦せてはいても重い筆を背負ってリュックを表現！！拍手喝采をいただきました。その積極性と根性に脱帽です。

曲がりなりにも“うんどうかい”と聞いて、戦々恐々としていたのは実は私たちシニア組、動けるかしら、疲れなかしら、走るのいやだな……、でも中身は「競技」ではなく「共戯」、アフタフのみなさんに乗せられて、子供・大人の区別なく遊んだ2時間でした。



7月～9月のイベント予定

(協会主催・後援、加盟団体主催・出演等)

※協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「Faxメール通信」をご参照下さい。

- 7月 19(金)～21(日) 八丈島夏まつり(加盟団体がステージに出演します)おじゃれホール
20(土) 自然っ子クラブ「八丈小島上陸体験」
- 8月 23日(金)・24(土) 八丈島JAZZフェスティバル2019 おじゃれホール
24日(土)～25日(日) 自然っ子クラブ「自然っ子キャンプ」
31日(土) CHAMPION SELECTOR spin out to 八丈島リードパークリゾート
- 9月 7日(土)・8日(日)第77回八丈島民大学講座 七島信用組合2Fホール

富士見地区公会堂管理事務所 お盆期間閉館のお知らせ

お盆期間中は富士見地区公会堂は閉館とさせていただきます。予約受付もお休みさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

閉館期間 8月12日(月・祝)～16日(金)

お詫び

前号(28号)掲載の八丈島文化フェスティバルの記事中、「コウリマニエ」と「カレオオラカイイヤーパナカパーフラオカウルレフア」さんの写真が入れ代わって掲載されてしまいました。両団体および関係者のみなさまにお詫び申し上げます。 ※写真再掲載



コウリマニエ



カレオオラカイイヤーパナカパーフラオカウルレフア

八丈島文化協会 会報 第29号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2019年7月5日発行

第8回総会をふまえ、 2019年度活動の充実を

八丈島文化協会会長 山下 和彦

2019年5月26日(日)、八丈島文化協会第8回総会が、大賀郷公民館で開かれました。団体会員12、個人会員7、来賓11、関係団体1の出席がありました。ご来賓の皆様、会員の皆様、ご多用のところご出席ありがとうございました。来賓を代表して、佐藤誠教育長より、「おじゃれホールを任せられるような協会に」との、期待の祝辞を頂きました。また、今年度から始める「芸能文化祭を、子どもたちが芸能文化団体の活動に日常的に参加するようにし、後継者を育成し、その発表の場としていく」ことについても、強い賛同とご支持をいただきました。

その後、山田幸也氏を議長に選出して議事に入りました。上程された、2018年度活動報告、2018年度収支決算報告及び監査報告、2019年度活動計画案、2019年度予算案、2019年度役員・理事体制の、全議案が原案どおり議決されました。

経過報告や監査報告の中でもありましたが、行政や都内などから増えている問い合わせや要望に応えられる事務局体制の必要性や、そのための事務局員体制の強化とそれに見合う予算の確保が、今年度も引き続きの課題です。文化協会は、芸能が好きの人が集まって、趣味にいそしみ交流するだけの団体ではありません。島の文化を島外・島内に発信していくことに貢献している団体でもあることを、行政や島民の皆様に広く知っていただきたいと考えています。

総会終了後に懇親会を行いました。文化協会の交流懇親会は、年に2回開催され、この総会後に実施するものが、その1つです。支庁長、町議、会員の合計で23名の方に参加いただき、有意義な歓談交流ができました。ありがとうございました。



奥山隆さんのご逝去にあたって

文化協会初代副会長で八丈太鼓月曜会代表の奥山隆さんが6月8日、ご逝去されました。享年69歳でした。隆さんには協会設立準備段階から、そして設立初年度は副会長として、協会の基盤づくりにご尽力いただきました。

また、八丈島芸能文化祭実行委員会の第1回から5回までの実行委員長として、八丈の伝統文化継承のために、同祭の開催に力を注いでいただきました。

八丈島の文化振興のためのご尽力に感謝申し上げますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。 八丈島文化協会役員一同



八丈島自然っ子クラブ・八丈小島体験

7月20日(土)実施予定

八丈島自然っ子クラブには、今年も元気な子どもたち32名(小3～中3)が入会してくれました。5月26日に底土キャンプ場でおこなった発足式&野外調理体験活動に引き続き、7月20日(土)には、毎年恒例になっている八丈小島体験事業を実施する予定です。

平成29年度より八丈島文化協会から頂いている漁船チャーター代の補助金のおかげで、今年もまた多くの子ども達と小島に渡って貴重な体験をすることができます。皆様に心より御礼申し上げます。去年の八丈小島体験の様子を簡単に紹介いたします。

平成30年は、連日の猛暑に見舞われていた7月22日に合計59名が参加して八丈小島上陸体験を実施しました。八重根漁港から2艘の漁船に乗り込み、30分程で八丈小島の鳥打に到着。上陸後、まず旧鳥打小中学校までの散策。昔の住居跡を眺め、ノヤギやアホウドリの話などを聞きながら、小島の歴史や自然を学びました。船着き場に戻るといよいよ海遊び。口火を切って高学年の男の子が飛び込むと、子ども達が次々に、深くて青い海へ飛び込みます。去年はシーカヤックも登場し、希望者をのせて湾のはずれの岬まで何度も往復しました。お昼には、素潜りの得意なスタッフが大きなフグを獲ってきてくれたので、子どもたちの前でさばいてふぐ汁を作りました。島でも最近ではふぐ汁を作る機会が減ってきて、ほとんどの子が初体験。おいしいおいしいと、あっという間にたいらげました。食後も午後3時半の迎えの船の時間まで思う存分海遊び。おやつのスイカを食べて帰路につきました。

八丈島自然っ子クラブでは、小島体験のほか、夏のキャンプ、秋のトレッキング、冬のアウトドア料理作りなど、年5回の活動を計画しています。クラブの運営は、学校の先生や支庁、役場、病院、保健所などに勤める若者たちがスタッフとなって、楽しく支えています。スタッフは随時募集していますので、興味のある方は、代表の小島



第77回八丈島民大学講座の概要決まる!!

=テレビ会議システムで大島と同時に受講=

首都大学東京の教授陣による夏の八丈島民大学講座の概要が決まりました。1日目は9月7日(土)。集中豪雨、竜巻の頻発、台風の巨大化など地球温暖化が原因とされる異常気象が人々の生活に大きな影響を及ぼしています。気候変動といわれる気象変化の実態と見通し、われわれにできることなどについて考えます。講師は大学院都市環境科学研究科 地理環境学域教授の松本淳先生。

2日目は9月8日(日)。「中世ゴシック建築はどこから来たか」というテーマで、西洋の建築と文化の歴史について学びます。講師の山田幸正先生(特任教授)から、「西欧の十字軍や修道院の中東などでの活動を通じて、中東イスラーム建築に強く影響をうけ、それが元となって、西ヨーロッパ、とくにフランスのゴシックの教会堂建築、フランスやドイツの美しい城郭建築が建設されたという話をできればと考えており、昨今、“キリスト教とイスラーム、文明の衝突”と言われている事象について、中世12世紀くらいの地中海世界における文化交流について、島の皆さんに知っていただくこともよいのでは」とのメッセージをいただきました。

講義は、両日ともに午後7時から8時30分まで、七島信用組合八丈島支店2階ホールで行われます。今回は特に、首都大学東京が取り組む地域社会の連携活動を支援する事業の一環として、七島信用組合のテレビ会議システムを活用し、八丈島と伊豆大島で同じ講義を同時に受講できる画期的な講座になる予定です。受講は無料です。ふるってご参加ください。

日時:9月7日(土)・8日(日) 午後7時～8時30分

会場:七島信用組合 八丈島支店 2階ホール

主催:首都大学東京・八丈島文化協会 後援:八丈町教育委員会

協賛:七島信用組合

お問い合わせ:島民大学講座運営委員会事務局 090-8036-1826

八丈島JAZZフェスティバル2019

8月23日、24日開催!

“子どもたちによる子どもたちのためのジャズフェス”をコンセプトに毎夏開催されてきた八丈島JAZZフェスティバル。7回目の今年も、島の子どもたちが活躍します。

CJP(Children Jazz Project～子ども運営委員会)は、この春に離島した初代メンバーの思いを後輩たちが受け継ぎ、新体制で活動しています。中学生がアイデアを出し合ったポスターがまもなく島内に貼られ、高校生が色やデザインを考えたTシャツも制作中です。これから本番にむけて、宣伝活動やコンサート演出の提案なども行っていきます。中高生が各所でチラシを配る姿を見かけたら、温かい目で見守っていただけたらと思います。

子どもたちが主役の「アマ・ステージ」は8月24日に行われます。1部は中高吹奏楽部・音楽部と八丈ジュニアアンサンブル(小学生)の単独演奏、2部は社会人吹奏楽団と公募参加の中高生が加わったの合同演奏、そしてJAZZフェスの最大の見どころであるプロ・ミュージシャンとの共演です。中高の合同練習は6月からスタートしており、7月13日、14日には、今年のゲスト、ジャズクラリネット奏者の谷口英治さんによるクリニックも予定されています。各小学校でも演奏曲を小学生たちが熱心に練習しています。ぜひ、子どもたちの演奏を聞きにいらしてください。

前日の8月23日には、谷口さん率いる「谷口英治クインテット」をお招きして「プロ・ステージ」を開催します。ライブハウス形式に会場を設営し、フードとドリンクを販売します。フードは4人の八高生が担当。飲食業を営む専門家の指導のもと、メニュー作りから、調理、販売までを行います。ジャズ界の第一線で活躍するプロのライブを高校生チームのフードとともに楽しみください。

八丈島JAZZフェスティバル2019 会場 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

8月23日(金) 「プロ・ステージ」18時30分開演 フード・ドリンク販売有

出演 谷口英治クインテット

(谷口英治Cl、吉本章紘T.Sax、小沢咲希Pf、菊池藍B、利光玲奈Ds)

入場 一般:前売り1800円、当日2000円)、学生(高校生以下):1000円(前売り・当日共)

親子ペア:2000円(前売りのみ)

8月24日(土) 「アマ・ステージ」15時開演

出演 八高吹奏楽部、富士中吹奏楽部、三原中音楽部、大中音楽部、社会人吹奏楽団、

八丈ジュニアアンサンブル(小学生)、公募中高生

第31回八丈島文化フェスティバル

出演・出展者募集期間について

第31回八丈島文化フェスティバルの開催日と募集期間が以下の通り決定しました。締め切りが、例年より早くなっていますのでご注意ください。

なお、今回より運営体制を変更し、実行委員会を、参加団体・出展者決定後、1回目の参加団体・出展者合同会議において結成することになりました。

詳しくは応募要項をご確認ください。(協会HPよりダウンロードできます。事務所で配布します)

第31回八丈島文化フェスティバル開催日

舞台部門 2020年1月19日(日)

作品展部門 2020年1月13日(月)～19日(日)

募集期間

舞台部門、作品展部門とも 2019年9月2日(月)～13日(金)